



さまざまな社会貢献活動が新事業部門づくりのきっかけとなっている（今年6月に開催した第19回環境フォーラム）

10年ビジョンは、次の目標を掲げている。同社は現在、①用水を担う経営幹部や管理職参加の合宿を開き策定。「社会を幸せにし、期待される会社」への目指し、顧客へのサービスを主要な柱とし、新事業として環境経営コンサルティングや水処理技術教育などのソフトラビネスの育成に

取り組んでいる。10年ビジョンでは、新たに省エネ・バイオマスなどのエネルギー関連事業、野菜・果物

・穀類製造や有機系肥料販売などの食料関連事業を手掛ける計画。同社は「環境フォーラム」の開催など、積

料販売などの食料関連事業を手掛ける計画。同社は「環境フォーラム」の開催など、積

0人が参加した。講師はファッションジャーナリストの藤岡篤子氏。「世界では、不況の影響でリラック

長期優良住宅の施工紹介

日本屋根協 名古屋で発表会開く



あいさつする坪井会長

全国の屋根施工業69社で構成する、日本屋根外装工事協会（事務局＝東京、坪井進悟会長）は29日、名古屋市中区のホテルで、事業発表会を開催した。会員のほか、瓦や関連資材メーカーなどから100人余が出席。6月に運用開始された「長

期優良住宅」に対応した、新しい屋根工法・仕様案を発表した。坪井会長は「3月に東京で総会を開催しているが、今回、協会創設来初めてコンサルタントに参画してもらい、検討を進めてきたことを発表したい」とあいさつ。防水や通気

の観点から、屋根の新施工方法を提案した。同協会では今後、全日本瓦工事業連盟と共同で検討委員会を開催し、10年3月に東京で正式発表。行政や大工など関連事業者に提案していく考え。